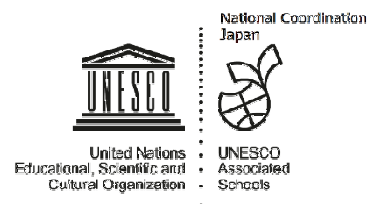


第 10 回ユネスコスクール全国大会（E S D 研究大会）開催報告



1. 日 時：平成30年12月8日（土）
2. 場 所：横浜市立みなとみらい本町小学校（横浜市）
3. 主 催：文部科学省、日本ユネスコ国内委員会
5. 目 的：全国のユネスコスクール関係者が一堂に会し、好事例や最新情報の共有や交流を行い、我が国のユネスコスクールの活動振興及びE S Dの普及・深化を図る。
6. 参加者：798名（ユネスコスクール教員、教育行政・研究関係者、国内外のユネスコ関係者、NPO、企業、生徒・学生等）
7. プログラム等：次頁のとおり。
8. 結果概要：
 - 開会式では、浮島 文部科学副大臣から、SDGs達成のためのE S Dの推進の重要性やユネスコスクールへの期待について、チェ・スヒャン ユネスコ教育局部長から日本と世界のユネスコスクールの交流・協働の促進への期待等について挨拶があった。
 - 特別対談「未来をつくり人材育成のあり方を考える」では、安西 日本ユネスコ国内委員会会長、宮内 横浜市教育委員、杉村 日本ユネスコ国内委員会教育小委員長が登壇し、急激な変化を遂げるこれからの社会で、批判的思考力を持ち、自らが問いを立てて多様な人々と協働しながら解決に導いていく人材をいかに育てていくかをテーマに対談が行われた。
 - パネルディスカッション「E S Dがつくるワタシたちの未来 ―ユネスコスクールで学び、育ち、そして進む」では、全国から6名のユネスコスクール卒業生が登壇し、E S Dの実践を通じて学んだことや今後の抱負を語った。若き持続可能な社会の担い手たちの数々の発言に、会場からは大きな拍手が上がった。
 - 午後からはテーマ別に分科会が実施され、有識者によるワークショップや学校教員の事例発表などを通じて、参加者同士が熱心に意見交換する様子が見られた。
 - 大会には多くの国内委員会関係者（委員・広報大使）が参加。及川委員がユネスコスクール/E S D推進功労賞を授賞した。
 - ユネスコ本部・北京事務所・バンコク事務所及び韓国・中国・モンゴルのユネスコ国内委員会から計9名のユネスコスクール担当官を招へいし、本大会や学校視察等を通じて、日本のユネスコスクール/E S Dの取組の発信及び相互交流を行った。

(当日プログラム)

10 : 00～10 : 30 開会式

浮島 智子 (文部科学副大臣)

鯉渕 信也 (横浜市教育長)

チェ・スヒャン (ユネスコ本部教育局 平和と持続可能な開発部長)

10 : 30～11 : 30 特別対談「未来をつくる人材育成のあり方を考える」

安西 祐一郎 日本ユネスコ国内委員会会長

宮内 孝久 横浜市教育委員、神田外国語大学長

コーディネーター: 杉村 美紀 日本ユネスコ国内委員会教育小委員長

11 : 40～13 : 00 パネルディスカッション

「ESDがつくるワタシたちの未来—ユネスコスクールで学び、育ち、そして、進む」

全国のユネスコスクール卒業生 6 名 (高校生 2、大学生 3、学校教員 1)

ファシリテーター: 末吉 里花 日本ユネスコ国内委員会広報大使

総括: 永田 佳之 聖心女子大学教授

13 : 00～14 : 20 ランチョンセッション (協力企業による活動の紹介)

14 : 25～16 : 25 分科会 (ワークショップ&テーマ別交流研修会)

16 : 30～17 : 15 第9回ESD大賞表彰式、ユネスコスクール/ESD推進功労賞表彰式、閉会式



第10回ユネスコスクール全国大会 集合写真